



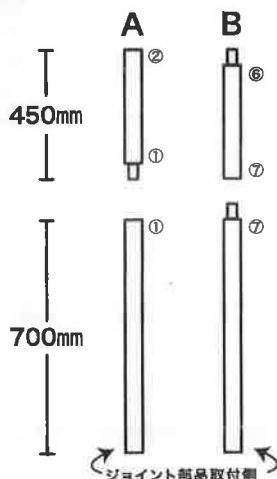
【クラスタールーンアーチキット取扱説明書】

この度は【クラスタールーンアーチキット】をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き、正しく本商品をご使用ください。

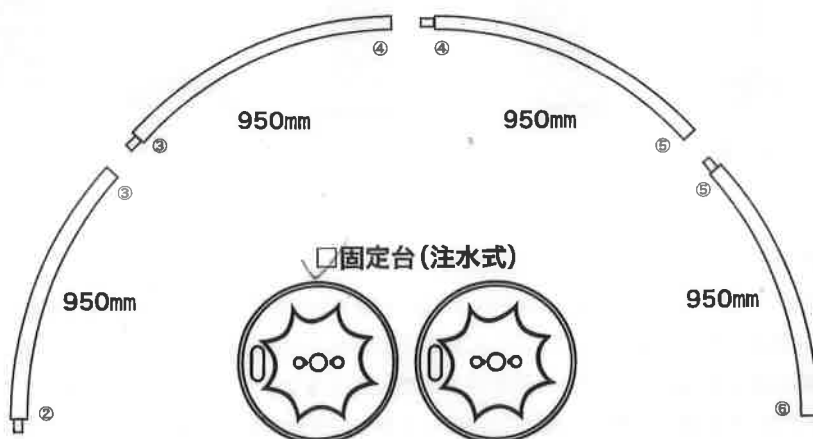
●●●●●キット内容●●●●●

✓☐パイプA,B(直線タイプ)

450mm...2本/700mm...2本



✓☐パイプC...4本



✓☐ハンドポンプ...2本

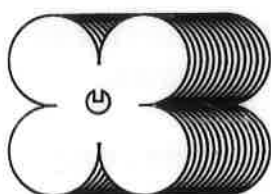


✓☐テグス



☐クラスタールーン
70枚(10枚/袋×7)

※内5~7枚程度は予備です。



✓☐ドライバー...1本



✓☐パイプ用ネジ...7個



✓☐ボルト(小)
2本



✓☐ナット
2個



✓☐ボルト(大)
2本



✓☐平座金...2個



ジョイント部分

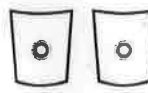
✓☐板レンチ...1本



✓☐蝶ナット...2個



✓☐ジョイント部品A...2個



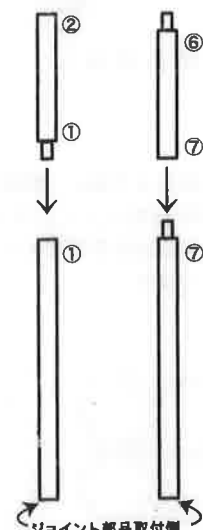
✓☐ジョイント部品B...2個
(シール付き)



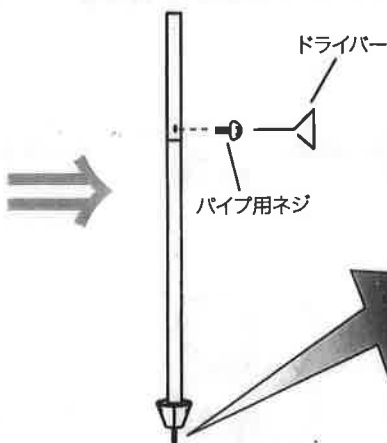
※固定台は一般市販のパラソル用の製品を使用しておりますので、支柱の部品が入っていますがこのキットには不要です。
また固定台のケースに印刷されている組立図も参考にしないでください。

1, パイプAとBをつなぎパイプ用ネジで固定して、固定台のジョイント部品を取付けます。

パイプA パイプB



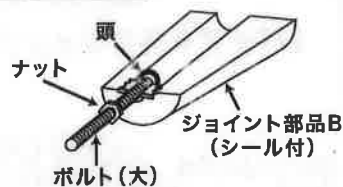
パイプAの場合
※パイプBも同様です。



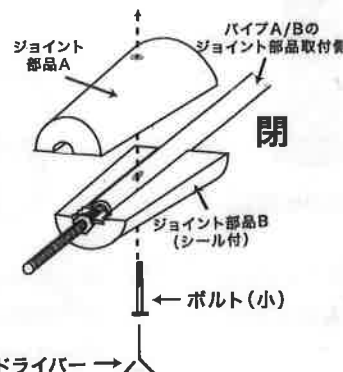
①
パイプには①~⑦までの番号シールが貼られています。
上図のようにパイプAとパイプBをそれぞれつなぎ、
付属のドライバーでパイプ用ネジで固定します。

ジョイント部品の取付け方

① 右図のようにジョイント部品B(シール付)に
ボルト(大)を置き、頭の部分を押さえ
ながらナットを手で締めます。



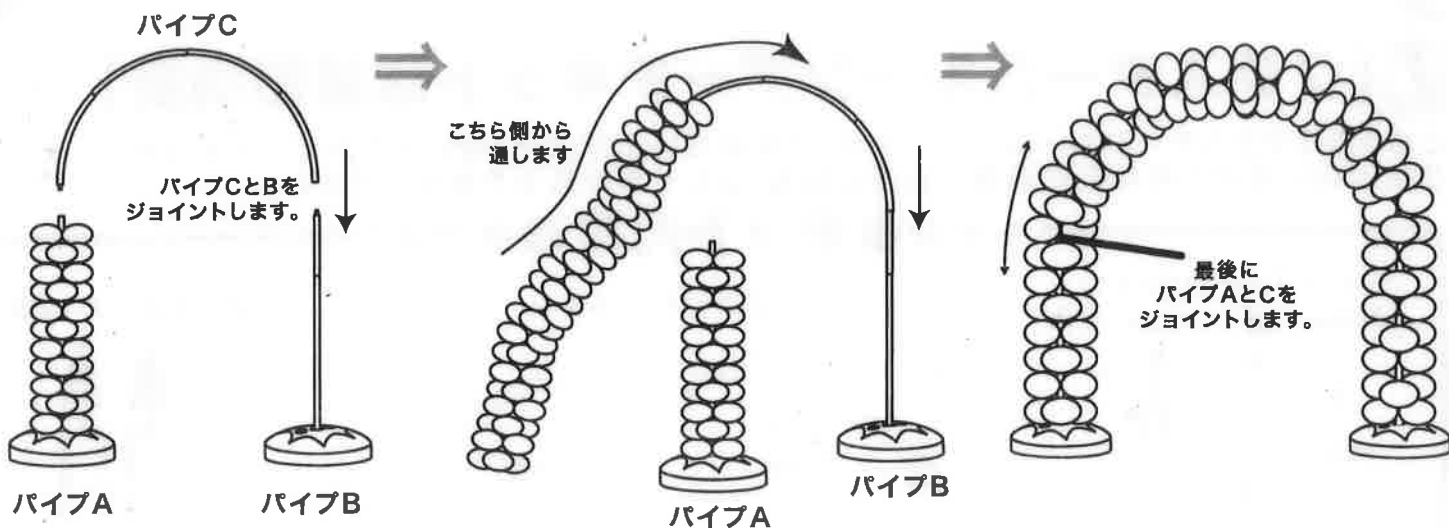
② 各パイプA/Bのジョイント部品取付
側とジョイント部品Aの穴を合わせ、
ボルト(小)を差し込み付属のド
ライバーでしっかりと締めてください。



③ 最後に板レンチで強く締めて
ください。



※この時、パーツとパーツの間に多少
隙間ができますが、無理に締めない
でください。



⑥

パイプBとパイプCを付属のネジでジョイントし、固定します。

テグスを通して膨らましたクラスターバルーンを上図のように、ジョイントしていない側のパイプCからジョイントしたパイプBへ通します。全てのクラスターバルーンを通してから最後に、パイプAとCを付属のネジでジョイントして固定します。

※クラスターバルーンの膨らまし方によっては1~4個程余る場合があります。

その際は無理に取付けずに、すき間が出来ない程度に調整して余ったクラスターバルーンは、メンテナンス用として保管してください。



⑦

最後にバルーンの配色を左図のように、らせん状に並べ変えて完成です。

※クラスターバルーンは、非常に薄いフィルムで出来ております。

破損防止の為、乱暴に扱わないでください。

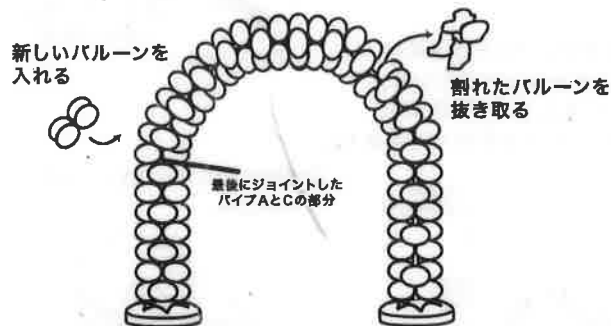
万が一、破損した場合は下記のメンテナンス方法をお読みください。

5. メンテナンス方法。

このキットにはメンテナンス用に、予備のクラスターバルーンが用意しております。

アーチのすき間が出来た場合・クラスターバルーンの空気抜け・破損があった場合、下記の説明文を参考にメンテナンスを行なってください。

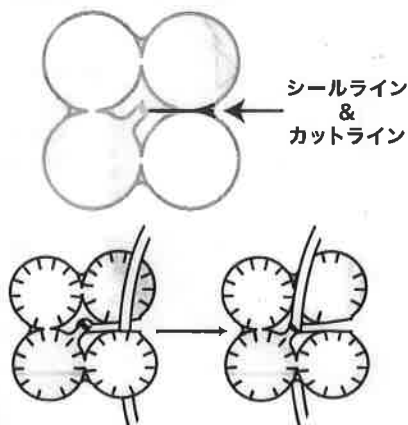
【パイプを外してメンテナンスする方法】



最後にジョイントしたパイプAとCのネジを外し、割れたバルーンを抜き取ります。

新しいバルーンをパイプに通して、再度ジョイント部分を固定し、バルーンの配色がらせん状になるよう整えます。

【パイプを外さないでメンテナンスする方法】



①

バルーンを膨らます前に、直線にシールされた箇所のシールラインのセンターをはさみ等でカットし、空気を注入します。

②

割れたバルーンを抜き取り、その部分に①で用意したバルーンをはさみ込みます。バルーンの中心まで通します。

③

カットした部分をテープ等利用して閉じます。これで完成です。